

解決したい課題、共創を通じて実現したいこと

[テーマ① 魅力的な商品開発を支える“客観的なエビデンス”の獲得に向けたマーケティング分析方法の検討と確立]

弊社はグループ会社によるPOSシステムの開発・採用、業務提携先によるAIカメラソリューションの開発・採用を進めており、デジタル技術の活用により、客観的なデータとその分析結果を商品開発につなげていきたいと考えています。特にプライベートブランド商品（PB商品）の開発に向けて、弊社が有する自社店舗の消費データと、北海道内消費者の消費傾向データ（購買データ・生活者調査・意識調査など）を組み合わせた“分析技術”やそうしたデータ取得に効果的な“ソリューション”を有し、商品開発の根拠となる科学的、心理学的エビデンスの獲得につながるマーケティング分析に協力いただけるパートナーを募集します（例：北海道内消費者の北海道産原料や北海道産製品への志向性の分析など）。

[テーマ② 北海道産の機能性素材を活用した機能性化粧品や機能性食品等の開発]

弊社PB商品は北海道産原料を積極的に採用しています。特に「化粧品、食品、日用品の開発に活用可能な北海道産の機能性素材」のご提案から、その機能性を製品コンセプトやブランディングへ活用するために必要な「客観的なエビデンスを得るための分析・評価技術」のご提案、製造加工技術のご提案まで広く募集します。特に化粧品原料については原料適性の高い酒粕、ハト麦、温泉水、乳製品を素材とするものを特にお待ちしています。また同じく化粧品原料については“北海道産原料”であることの優位性を、具体的な根拠にもとづき訴求したいことから、「他産地原料との比較データなどの北海道産原料の優位性を示すエビデンス」のご提示もお願いします。

[テーマ③ 北海道産資源を活用したアップサイクル商品の開発]

一次産業が豊かな北海道の各地には魅力的な産品が多くありますが、その中には生乳のように需給変動によって余剰分が廃棄されているケースも様々生じています。余剰廃棄に限らず、このように「従来は廃棄されていた北海道産の産品、資源を活用した魅力的なアップサイクル商品」の共同開発に協力いただけるパートナーを募集します。原材料や加工技術のご提案はもちろん、共同開発のご提案まで広くご提案をお待ちしています。

共創時に提供可能性のあるリソース

- 北海道内外約200店舗の自社店舗、ネットワーク（道内市町村、大学、研究機関等）をご活用いただけます（**全テーマ共通**）。
- 自社店舗・関連アプリケーション等から得られる消費者購買情報などの各種データをマーケティング、商品開発にご活用いただけます（**全テーマ共通**）。
- 弊社の商品開発ノウハウや、ブランディング・販促ノウハウをご活用いただける他、ご提案の素材、製品を道内外200店舗で実際に販売する機会を提供することができます（**テーマ②・③**）。

担当者メッセージ（経営企画グループアライアンス推進チーム）

「北海道の『いつも』を楽しく」という私たちのコンセプトを大切に、お客様に満足いただけるだけでなく、私たち従業員自身も誇らしく感じられるような商品の開発を目指しています。その商品の素晴らしさを伝えるために、客観的なエビデンスにもとづいた質の高いものづくりを目指します。北海道内の原材料の提案から分析、開発、製造まで、様々なパートナーを募集しています。

参考情報リンク

[企業概要]

<https://satudora-hd.co.jp/>

[共創・協業等の関連情報]

<https://satudora-hd.co.jp/news/2025/02/18/6109/>